



プレスリリース

GGG 08 - 11

平成20年10月 1日

(社)golferの緑化促進協力会
日本ゴルフ場支配人会連合会

「ゴルフ場の生物多様性と重要木等の調査」を開始

(社)golferの緑化促進協力会(会長:児島仁、理事長:大西久光)と日本ゴルフ場支配人会連合会(会長:田村和男)は、共同で、全国のゴルフ場でどのような動物や植物が生息しているかを調査・分析し、golferとゴルフ界だけでなく、広く一般の方々に、ゴルフ場が自然環境保護に果たしている役割への理解を深めていただくこととしました。

ゴルフ場は、多様な樹木や芝、コースを彩る花木や草花、池、砂地などが、景観面を重視しつつ良好に維持管理され、周辺の自然と相まって多様な動植物が生活環を保ちつつ生息しています。

別の言い方をすれば、極めて「生物多様性」に富んだ場所で、名木・銘木の保護管理、貴重種・希少種などの生息もゴルフ場だからこそ可能なものがあると思われれます。

調査項目は、1)生物(動植物)の分布 2)貴重種・希少種 3)古木・名木・巨樹等 で、全国のゴルフ場に対して郵送により行い、併せ、貴重種等の写真の提供も依頼いたします。

調査結果については、取り纏めが終了いたしましたら(社)golferの緑化促進協力会のホームページなどで公表するほか、本結果をゴルフ界の共有財産として広く活用して戴くことを念願しております。

本件問合せ先

(社)golferの緑化促進協力会 担当:西本、麻生
電話;TEL:03-3584-2838 FAX:03-3584-2847